

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和 6 年度排水ポンプ車の機能及び作業の効率化検討業務
業 務 概 要	業務計画 1 式、排水ポンプ車の搭載機器の延命技術に関する検討 1 式、排水ポンプ車運用時の効率化検討 1 式、排水ポンプ車設営作業時の負担軽減・効率化検討 1 式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 九州技術事務所長 山下 尚 福岡県久留米市高野 1 丁目 3 - 1
契 約 年 月 日	令和 6 年 7 月 8 日
契 約 業 者 名	(株) 建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区日本橋浜町 3 - 2 1 - 1
契 約 金 額	1 2, 9 8 0, 0 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	1 2, 9 8 0, 0 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	九州技術事務所
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 6 年 7 月 9 日
履 行 期 間 (至)	令和 7 年 3 月 1 4 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和6年度排水ポンプ車の機能及び作業の効率化検討業務
2. 履行場所 九州技術事務所

3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名2-4-12
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
電 話：092-714-2211

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、排水ポンプ車の維持管理費の縮減、および排水ホース設置・撤去作業を迅速かつ安全に実施し、水災害への対応強化を図るため、排水ポンプ車搭載機器の延命方法を検討し、排水ポンプ車の排水ホース運搬・配置やポンプ投入等の現場作業を補助する技術の導入促進及び活用方針を検討するものである。

2) 業務の内容

排水ポンプ車の維持管理費の縮減、水災害への対応強化を図るため、排水ポンプ車の維持管理コストや修繕に係る課題を把握・分析し、維持管理効率化の観点から搭載機器の延命技術を検討する。併せて運用の効率化を図るべく、氾濫個所におけるポンプ設置ポイント探索と走行ルート決定のサポートシステムを検討する。また排水ホース設置・撤去作業を迅速かつ安全に実施するため、現場作業を補助する技術の試行調査を行い、有用な技術について今後の活用方針の整理を行うものである。

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を15者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「排水ポンプ車における架装機器の延命の検討にあたり、的確な保全方法を提案するための留意点」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、「実施手順」における工程計画の工夫が記載されていること、「その他」有益な代替案、重要事項の指摘が記載されており、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

九州技術事務所 技術活用・人材育成課長